

衆議院厚生労働委員会ニュース

平成 30. 7. 11 第 196 回国会第 35 号

7 月 11 日（水）、第 35 回の委員会が開かれました。

1 医療法及び医師法の一部を改正する法律案（内閣提出第 60 号）（参議院送付）

- ・加藤厚生労働大臣、あかま内閣府副大臣、高木厚生労働副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

三ッ林裕巳君（自民）

- ・長期的な医師の需給推計と今後の医学部入学定員の見通しについて、厚生労働大臣の認識を伺いたい。
- ・都道府県知事から大学に対する地域枠・地元出身入学者枠設定の要請権限が創設されることで、大学医局を含めた地域への医師の定着にどの様につながるのか、伺いたい。
- ・診療科偏在を解消するため、女性医師の活躍が特に期待される産婦人科や小児科に関して、出産・子育てなどで休職後復帰しやすい環境整備を進めるべきではないか。

国光あやの君（自民）

- ・医師確保対策に係る都道府県の役割の強化により、公立・公的病院や民間病院等に不安や誤解を与えないよう、どのような対応を行うのか。
- ・地域枠を利用した医学部定員増について、検討中とされる平成34年度以降も、医師不足の程度に応じて、臨時的な定員増を延長すべきではないか。
- ・地域の医療体制整備のため、急性期病院の機能分担・再編を進める必要があるが、まずは厚生労働省所管の病院から行うべきではないか。

繁本護君（自民）

- ・診療科間の偏在の解消に向けて、医師会や医師本人の協力が得られるインセンティブを考えるべきではないか。
- ・在宅医療に重要な役割を担うかかりつけ医の確保に向けて、厚生労働省はどのような対策を講じているのか。

中野洋昌君（公明）

- ・平成30年7月豪雨による被害に対して、水道の復旧、医療・介護や公衆衛生面における対応などに万全を期すべきではないか。
- ・医師少数区域と判断されない二次医療圏の中にはへき地

や離島のような医師確保困難地域もあるが、こういった地域の医師確保支援はどうしていくのか。

- ・ドクターカーやドクターヘリの整備を推進する必要があると考えているが、現在の整備状況及び今後の整備方針について伺いたい。

吉田統彦君（立憲）

- ・新設された医学部の卒業生は、医師不足の地域や診療科で勤務をするようにすべきではないか。
- ・過疎地の医療を守るためには、まずは自治医科大学の定員の拡充の方が実効性が高いと考えるが、文部科学省及び厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・本法律案において、日本専門医機構は専門医の質の担保という目的と合わない場合は厚生労働大臣の意見を拒否できるのか、確認したい。

池田真紀君（立憲）

- ・都道府県知事の権限の強化に当たっては、医師少数区域等に医師の配置を行うような調整機能も必要があるのではないか。
- ・国民健康保険未加入者の状況を把握し、今後の制度設計に活用すべきではないか。
- ・訪問診療等に代わる手段のない過疎地等において、訪問診療等の体制を充実させる必要があるのではないか。

西村智奈美君（立憲）

- ・平成30年7月豪雨被害に関して、厚生労働省が設置した被災者生活支援チームは福祉避難所とも連携して支援に取り組むべきではないか。
- ・都市部への集中による地域における医師の偏在の問題は、本法律案により抜本的に解決できるのか、伺いたい。
- ・地域における医療提供体制を確保するため、地域医療対策協議会の定期的な開催の義務化や開催費用の助成等、都道府県と大学等の関係者との連携強化が必要ではない

か。

尾辻かな子君（立憲）

- ・地域医療構想の達成に向けた病床数の調整に当たっては、地域医療を守る観点で行うべきであると考えているが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・地域医療構想調整会議では、骨太の方針2018において対象とされた「公立・公的医療機関」の再編・統合だけが議論されるのではないかと。

柚木道義君（国民）

- ・平成30年7月豪雨被害の被災者に対し、避難所における熱中症対策や住まいの確保といった支援への取組について、文部科学省、厚生労働省及び防衛省にそれぞれ伺いたい。
- ・医師の働き方改革について、医師の特殊性を踏まえた検討が必要と考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・医師から他職種へのワークシェア、タスクシフトを進めていく上で、政府においてガイドラインの作成を検討する必要があるのではないかと。

岡本充功君（国民）

- ・文部科学省前局長汚職事件と同様の事案の有無について、文部科学省は自ら調査を行う必要があるのではないかと。
- ・地元出身の医学部入学者は地元定着割合が高い傾向があるが、離れた都道府県の出身者の地域枠を設けることについて、文部科学省の見解を伺いたい。

- ・医師少数区域等で勤務した医師を評価する制度を創設するが、詳細な制度設計を示さないまま法定の資格が創設された例を示してほしい。

高橋千鶴子君（共産）

- ・平成30年7月豪雨被害の被災者が活用できるサービスの周知や、内閣府等の他府省と共同した避難所の環境改善等を行っていくべきではないかと。
- ・医師不足により非稼働となっている病床について、地域医療構想の達成に向けた地域ごとの協議を進める中でどのように考えていくのか伺いたい。
- ・本法律案のような都道府県知事の権限を追加することは、都道府県知事の命令等に従わなかった病院名の公表が実施されることを意味するのではないかと。

串田誠一君（維新）

- ・本法律案の提出に当たり、これまでの医師偏在対策が成功したかどうかの検証は行われたのか伺いたい。
- ・医師少数区域等で勤務した医師の認定制度はどのような内容で、医師の偏在解消に関してどの程度の効果を見込んでいるのか伺いたい。
- ・医師の偏在解消のために特定の地域等での勤務を義務付ける公務員枠を設けるなどの対策を行う必要性について、厚生労働大臣の認識を伺いたい。

2 理事の辞任及び補欠選任

- ・理事の辞任を許可し、補欠選任を行いました。

辞任 理事 橋本岳君（自民）

補欠選任 理事 赤澤亮正君（自民）（理事橋本岳君今11日理事辞任につきその補欠）